

ネットトラブルの取組みや活動内容調査結果

【佐賀市役所】学校教育課

佐賀市役所ではネット関係の啓発活動を行っていないとの事、
県の教育委員会→教育課→各学校へ授業などで教えるように
指示をするそうで、相談があった場合も県の相談窓口を紹介する方向。
各学校からの報告がある程度あるみたいです。

【小城市役所】小城市生涯学習課

3年前から親子でネットに対する対話を目的に、スマホルールを作ろうという活動をしている
うで今年は小城市の早寝早起き朝ごはんカレンダーにルールブックを添付
→22 時以降は触らないなど三日月ルールのようなものも各地区で作り普及活動している
出前講座は学校区単位で保護者向けに IT サポートさがなどの専門家と連携して各地区で行
なっている

【神崎市役所】

神崎市役所では、まだ何の取組みもされていないとの事でした。

【佐賀市青少年センター】

主に各学校と連携して運営されてるところで、ここ3年くらい啓発活動をされてません。
学校と市や県をつなぐパイプ役みたいで、ネット関連の相談があった場合は県の窓口を紹介
するそうです。

【佐賀県こども未来課・情報課】

- ・主に特定非営利活動法人ITサポートさがと連携をして講演活動をやられてます。
- ・佐賀県青少年健全育成条例に基づく携帯電話等のフィルタリングの利用促進のカードやビ
ラの配布(有料、有害サイト等)
- ・情報モラル講座 通称:ひまわり講座の開催(小中学生、保護者、携わる大人達)
- ・ネットパトロール 個人情報、不適切発言(いじめ等)の内容を発見次第各学校を通じて生
徒への改善指導

・スマホ時代の子育てセミナー

→スマホ、タブレット等に幼児期からの触れ合い方(メリット、デメリット等)

・自我どり被害 裸体など写メが出回るなどの未然防止など

・委託しているネットトラブル相談窓口にて電話、LINE、メールで受付

不満や不安のレベルから受付可(大きくなる前に)

相談の内容にて警察、消費関係に繋ぐトラブル解決のパイプ役、解決の糸口をつくる

※相談窓口を知らない、思春期の恥ずかしさとか相談が恥ずかしいとかでまだ実際は悩まれている方はたくさんいると思うとのこと

【佐賀県警少年サポートセンター】

学校から依頼を受けると訪問して授業されるそうで、去年は数回されたそうです。

【佐賀市教育委員会】

・生活指導担当の研修会で、ネットトラブルの具体的な事案を紹介して情報提供

講演などはそれぞれの学校が独自に行なっている教育委員会への直接の相談はないとのこと。教育委員会として活動していることはないとのこと。

【特定非営利活動法人ITサポートさが】

・佐賀県と連携をして県内の様々なところで「子ども達向け」「大人向け」「子育て保護者向け」「情報モラル・セキュリティ」「ツール活用のやり方」等幅広く講演・講座をやられています。モラル啓発の動画等も作成されてるみたいです。

・独自の相談窓口も設けてありLINE・電話・メールで対応されてるみたいです。

・各相談窓口の相談件数のカウント基準もまだまだ確立をされていない状況らしいです。

社会ではインターネットの普及は加速を続け、データの共有のみならず働くスタイル、コミュニケーションの方法や生活環境も大きく変化しており、さらにSDGs9ターゲットの達成に不可欠と言われるICTの発展に向け、2020年から数年以内に起こるとされる5G通信の普及によるデジタル革命の時代に突入すると言われています。生まれた時からインターネットが身近にある子ども達は小学生からスマホを持ったり、授業でパソコンやタブレットに触れたり、インタ

ーネットを使う機会が増えています。一方でネット依存やネットいじめ、SNSを通じた性犯罪など子どものインターネット利用に伴う課題も発生しています。佐賀県では様々な観点からインターネット関連の活動や取り組みをされていております。しかし佐賀青年会議所の活動範囲の佐賀市、小城市、神埼市では、ほとんど何も取り組みをされてないのが現状でした。地域のリーダーである佐賀青年会議所メンバーとしても、メリットや課題等を5月例会で学んでいただき、効果的活用を促していけるようにと、このITというテーマを選定しました。